

発展 ヨーロッパ文明の源流	学習指導要領の「内容」の(2)アの「世界の古代文明」に示す内容を学習指導要領に示していない内容として扱っており、不適切である。
4世紀になってローマ帝国の国教として認められると、キリスト教はヨーロッパ中で信仰されるようになりました	ヨーロッパにおけるキリスト教の伝播、定着について誤解するおそれのある表現である。



ヨーロッパ文明の源流 2世紀の世界

ギリシャ文明

紀元前9～4世紀にかけて、いまのギリシャを中心に文化が栄えました。紀元前8世紀ころからアテネやスパルタといった都市国家(ポリス)がたがいに争っていましたが、これらの都市は、ことばや宗教はおなじものをもち、共通の文化を発展させていました。

【政治・哲学】 古代ギリシャのポリスでは、貴族・平民・奴隷という身分があり、はじめは王による政治がおこなわれていましたが、ポリスの全市民が参加する直接民主政治がおこなわれるようになりました。なかでも、アテネでは18歳以上の男性市民だけで政治がおこなわれ、デモクラチアとよばれていました。これには女性と奴隷は参加できませんでした。

民主政治のもとで人間性が重んじられ、明るく調和のとれた文化が発達しました。

人間の生きかたや政治のありかたを考える学問(哲学)が発達し、ソクラテスや弟子のプラトン、アリストテレスが活躍し、ヨーロッパの哲学のもとをさきました。

オリンピックの起こり
古代ギリシャの都市オリンピックでおこなわれた、全島の神々(ゼウス)にささげられる祭典競技でした。紀元前776年の記録がもっとも古いものです。4年に1回開かれ、ポリス対決でおこなわれました。競技は短走(走の競技)・レスリング・ボクシング・騎馬などがありました。



日本にも伝えられた西アジアやギリシャの文化

(「発展 ヨーロッパ文明の源流 2世紀の世界」は、「深める歴史2 ヨーロッパ文明の源流 古代の地中海世界」というテーマ学習として、該当箇所におく。
箇所番号9については、箇所番号8の修正とあわせて示す。)

深める歴史 2

ヨーロッパ文明の源流 古代の地中海世界



◆ギリシャ文明

紀元前9～4世紀にかけて、いまのギリシャを中心に文化が栄えました。紀元前8世紀ころからアテネやスパルタといった都市国家(ポリス)がたがいに争っていましたが、これらの都市は、ことばや宗教はおなじものをもち、共通の文化を発展させていました。

【政治・哲学】 古代ギリシャのポリスでは、貴族・平民・奴隷という身分があり、はじめは王による政治がおこなわれていましたが、ポリスの全市民が参加する直接民主政治がおこなわれるようになりました。なかでも、アテネでは18歳以上の男性市民だけで政治がおこなわれ、デモクラチアとよばれていました。これには女性と奴隷は参加できませんでした。

民主政治のもとで人間性が重んじられ、

明るく調和のとれた文化が発達しました。人間の生きかたや政治のありかたを考える学問(哲学)が発達し、ソクラテスや弟子のプラトン、アリストテレスが活躍し、ヨーロッパの哲学のもとをさきました。

オリンピックの起こり
古代ギリシャの都市オリンピックでおこなわれた、全島の神々(ゼウス)にささげられる祭典競技でした。紀元前776年の記録がもっとも古いものです。4年に1回開かれ、ポリス対決でおこなわれました。競技は短走(走の競技)・レスリング・ボクシング・騎馬などがありました。



日本にも伝えられた西アジアやギリシャの文化



2世紀ころのローマ帝国

ローマ文明

古代ローマの時代(紀元前6世紀～紀元1世紀、とくに紀元1～2世紀にかけては、強力な皇帝のもとで領土をひろげ栄えた)に発達した文明です。

ローマ帝国のひろい領土をおさめるため、とくに法律や土木・建築技術などが発達しました。ヨーロッパ各地には、当時の建築物がいまも残っています。



◎コロッセウム ローマ市内にある円形闘技場。紀元1世紀に建てられました。

◎水道橋 ローマ人は土木・建築技術にすぐれ、領内各地に水を運ぶための水道橋をつくっていました。(南フランス、ニーム近郊)



3世紀ころのローマ(復元模型) 人口100万をこす世界最大の都市でした。(ローマ文明史博物館蔵)

キリスト教のおこり

キリスト教をおこしたイエスは、ローマ帝国に支配されていたイスラエルに生まれました。かれは、救世主の出現をのぞんでいたイスラエルの人びとに、全知全能の神、すべての人に平等にそそがれる神の愛を説き伝えました。イエスがローマによって処刑となったのち、弟子たちはイエスを救世主(キリスト)であると、イエスの教えをイスラエルの内外へ伝えはじめました。4世紀になってローマ帝国の国教として認められると、キリスト教はヨーロッパ中で信仰されるようになりました。こうしてキリスト教はヨーロッパの国々にのびのびと文化、思想などに大きな影響をあたえるようになりました。

◎キリスト ビザンチウム(いまのイスタンブール)にある聖ソフィア教会のモザイク画



2世紀ころのローマ帝国

◆ローマ文明

古代ローマの時代(紀元前6世紀～紀元5世紀、とくに紀元1～2世紀にかけては、強力な皇帝のもとで領土をひろげ栄えた)に発達した文明です。

ローマ帝国のひろい領土をおさめるため、とくに法律や土木・建築技術などが発達しました。ヨーロッパ各地には、当時の建築物がいまも残っています。



◎コロッセウム ローマ市内にある円形闘技場。紀元1世紀に建てられました。

◎水道橋 ローマ人は土木・建築技術にすぐれ、領内各地に水を運ぶための水道橋をつくっていました。(南フランス、ニーム近郊)



3世紀ころのローマ(復元模型) 人口100万をこす世界最大の都市でした。(ローマ文明史博物館蔵)

◎キリスト ビザンチウム(いまのイスタンブール)にある聖ソフィア教会のモザイク画



キリスト教のおこり

キリスト教をおこしたイエスは、ローマ帝国に支配されていたイスラエルに生まれました。かれは、救世主の出現をのぞんでいたイスラエルの人びとに、全知全能の神、すべての人に平等にそそがれる神の愛を説き伝えました。イエスがローマによって処刑となったのち、弟子たちはイエスを救世主(キリスト)であると、イエスの教えをイスラエルの内外へ伝えはじめました。やがて4世紀にキリスト教はローマ帝国の国教として認められ、地中海沿岸の各地にひろまり、ローマ帝国が滅びたあとには、ローマとコンスタンティノープル(現代のイスタンブール)を中心に、教会制度が整えられ、布教活動がおこなわれました。こうしてキリスト教は、しだいにヨーロッパにひろまっていきました。